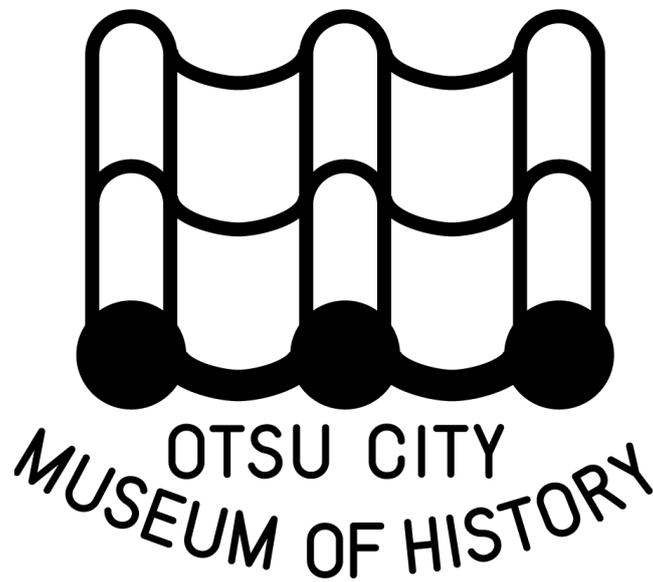


# 令和6年度大津市歴史博物館活動報告



大津市歴史博物館

## 【1-1】博物館資料の収蔵状況

### ◇収集資料件数

	購 入	受 贈	受 託	合 計
絵 画	177件 (+7件)	74件 (+1件)	255件 (+1件)	506件 (+9件)
彫 刻	1件	1件	47件 (+11件)	49件 (+11件)
工 芸	40件	40件	48件 (+1件)	128件 (+1件)
書 跡	28件	21件	41件 (+1件)	90件 (+1件)
古 文 書	28件 (+1件)	29件 (+1件)	78件 (+4件)	135件 (+6件)
考 古	0件	5件	12件	17件
歴 史	37件	229件 (+4件)	82件 (+1件)	348件 (+5件)
民 俗	0件	22件	9件	31件
合 計	311件 (+8件)	421件 (+6件)	572件 (+19件)	1304件 (+33件)

(令和7年3月10日現在) (※減少は寄託品の返却、寄託品の受贈等による)

### ◇新収蔵資料 (令和6年度収集資料)

(第1回) 令和6年8月4日答申

(第2回) 令和7年3月5日答申

#### <購 入>

	種別	名称	員数
1 (第1回)	絵画	大津絵 阿弥陀三尊来迎	1枚
2~5 (第1回)	絵画	近江八景 石山の秋月・瀬田の夕照 粟津の晴嵐・堅田の落雁 勝川春章画	4枚
6 (第1回)	絵画	大津絵画卷 中島来章筆	2巻
7 (第2回)	絵画	横綱ノ図 勝川春好画	1枚
8 (第1回)	古文書	六角氏家臣連署禁制	1通

## <受 贈>

	種別	名称	員数
1 (第2回)	絵画	花鳥十二ヶ月図 柴田晩葉筆	12 幅対
2 (第2回)	古文書	岡本家永代帳	1 冊
3 (第2回)	歴史資料	一庭啓二関係資料	一括
4 (第2回)	歴史資料	上村兄弟硝子製造営業所カタログ	1 冊
5 (第2回)	歴史資料	森本家戦時中資料	一括
6 (第2回)	歴史資料	『記録写真 湖西線沿線』ほか河原茂市撮影写真	一括

## <購 入>

### 購入1 絵画 大津絵 阿弥陀三尊来迎 江戸時代 1幅

青面金剛と並ぶ大津絵仏画の代表的な画題。版木押し、文廻し(コンパス)、合羽摺、定規引きの描き表装、真鍮粉蒔き等、大津絵を特徴づける製作技法をひと通り解説できる作品。

### 購入2～5 絵画 近江八景 石山の秋月・瀬田の夕照・粟津の晴嵐・堅田の落雁 勝川春章画 江戸時代 4枚

近江八景を画題とした多色摺木版画としては初期の作例。ボストン美術館本(瀬田、矢橋、唐崎、比良)と草津市本(矢橋)及び所在不明の矢橋、三井、堅田以外に確認できていない希少作品。

### 購入6 絵画 大津絵巻 中島来章画 文政6年(1823) 2巻

大津在住の円山派絵師、中島来章(1796-1871)が、大津絵の画題を網羅的に臨写した作品(画題の総数41点)。画題資料であると共に序文や識語の来章や歌人香川景樹の情報も興味深い。

### 購入7 絵画 横綱ノ図 勝川春好画 江戸時代 1枚

大津の京町出身で、寛政元年(1789)、制度確立後初めて横綱免許を受けた小野川喜三郎(1758・1761-1806)の横綱土俵入りの錦絵。特徴的な初期の化粧廻し姿が描かれた古い相撲絵である。

### 購入8 古文書 六角氏家臣連署禁制 元龜元年(1570)9月23日 1通

元龜元年9月、六角氏家臣の左馬允(某康明)と参河守(種村賢仍)が堅田に出した禁制で、①軍勢甲乙人の乱暴狼藉、②山林の竹木伐採・田畠刈取、③矢銭兵糧米の課税を禁止している。

## <受 贈>

### 受贈1 絵画 花鳥十二ヶ月図 柴田晩葉筆 大正9年(1920) 12幅対

大津市新町出身の日本画家で山元春拳門人の柴田晩葉(1885-1944)が十二ヶ月の花鳥を12幅対で描く。本館の平成22年度企画展「柴田晩葉-湖国のモダン日本画家-」の出品作である。

### 受贈2 古文書 岡本家永代帳 江戸～昭和時代(戦前) 1冊

大津代官同心岡本家に伝わり、安永3年(1772)正月から昭和20年(1945)1月までの同家来歴を集約した古記録。大津代官関係の史料は非常に限定的であり貴重な資料といえる。

**受贈3 歴史資料 一庭啓二関係資料 江戸～昭和時代（戦後） 一括**

---

琵琶湖にはじめて浮かんだ蒸気船「一番丸」船長を務めた一庭啓二に関する資料群。船屋太郎兵衛家（市場家）に伝わる資料や一庭啓二の関係資料、親族に関する資料等からなる。

**受贈4 歴史資料 上村兄弟硝子製造営業所カタログ 大正～昭和時代（戦前） 1冊**

---

かつて大津市鳥居川村字粟津原に所在した「上村兄弟硝子製造営業所」石山分工場を経営していた上村榮吉の子孫の家に伝わったガラス製品カタログ。

**受贈5 歴史資料 森本家戦時中資料 昭和時代（戦前） 一括**

---

大津市役所に勤務しながら、夜間立命館大学に通っていた森本孝一氏の出征日の丸寄せ書きなど、戦時中の資料。

**受贈6 歴史資料 『記録写真 湖西線沿線』ほか河原茂市撮影写真 江戸～昭和時代（戦後） 一括**

---

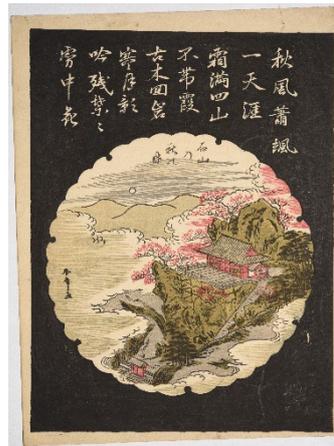
河原茂市氏が撮影した大津市内（湖西線沿線）の写真。特に駅前の風景は大きく変貌しているため、貴重な記録といえる。

(令和6年度収集資料画像写真)

<購入>



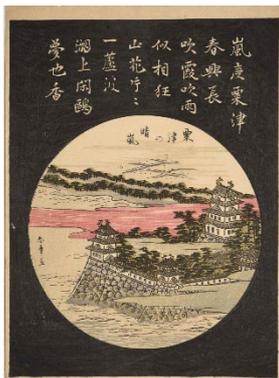
購入1 大津絵  
阿弥陀三尊来迎  
江戸時代 1幅



購入2 近江八景  
石山の秋の月  
勝川春章画  
江戸時代 1面



購入3 近江八景 瀬田の夕照  
勝川春章画  
江戸時代 1枚



購入4 近江八景 粟津の晴嵐  
勝川春章画  
江戸時代 1枚



購入5 近江八景 堅田の落雁  
勝川春章画  
江戸時代 1枚



購入6 大津絵画卷  
中島来章筆  
江戸時代 2巻



購入7 横綱ノ図 小野川  
勝川春好画 江戸時代 1枚



購入8 六角氏家臣連署禁制  
安土桃山時代 1通

<受 贈>



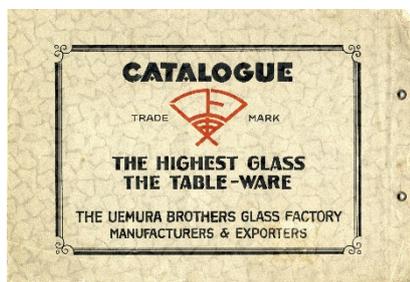
受贈1 花鳥十二ヶ月図  
柴田晩葉筆  
大正時代 12幅



受贈2 岡本家永代帳  
江戸時代 1冊



受贈3 一庭啓二関係資料  
明治～昭和時代(戦前)  
一括



受贈4 上村兄弟硝子製造営業所カタログ  
大正～昭和時代(前期) 1冊



受贈5 森本家戦時中資料  
昭和時代(戦前) 一括



受贈6 『記録写真 湖西線沿線』  
ほか河原茂市撮影写真

## 【1-2】未指定文化財調査事業の進捗状況

本市には、国・県・市から指定を受けた文化財が数多くあるが、未だ把握できていない未指定の文化財も多く残されている。令和元年に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、歴史文化の保存に向けた基本方針のなかで、市民や市民団体、専門家、関係機関、行政等の協働による歴史文化遺産の調査を推進することが挙げられた。博物館ではこれまで展覧会や地元の要望等にあわせてこうした調査を行ってきたが、生活様式の変化や後継者不足、管理体制の問題などから、近年存続の危機に瀕している歴史文化遺産が多くなっていることをふまえ、今後は主体的な調査研究に取り組み、所有者や地域とのつながり、専門家や関係機関、行政などとの協働を取り入れながら様々なテーマで調査を行い、その成果を還元する。

令和6年度は、令和5年度から始まった調査について継続して実施した。

### ◇研究テーマ

#### ①【大津の食文化資料調査プロジェクト】

大津市内の食文化や産業に関連する資料の総合調査。大津市内の食に関する企業等に保存されている歴史資料（古文書・近代以降のパンフレットや関連資料、制作道具等）を総合的に調査し、本市の食文化の一端を明らかにする。まずは、大津市史等で資料の所在が確認できている、和菓子と酒造に関する調査から始めた。

令和6年度は、引き続き立命館大学食マネジメント学部の鎌谷かおる研究室と協力体制のもとで、市内に所在する酒造関係資料の翻刻作業を行なった。

#### ②【市内寺社未指定文化財調査】

大津市は、京都市や奈良市に次いで全国で3番目に指定文化財の件数が多く、このうち9割以上を市内の寺社が保有している。市内には数多くの寺社が所在しているが、いまだ未調査の社寺が多くあり、文化財的価値がある宝物が眠っていることが予想される。歴史博物館では、文化財所有者による保存や防犯等に関する相談も近年多くなっていることから、彫刻、絵画、工芸品、聖教など各分野による未指定文化財の総合的調査を計画的に行っていく。

本年度は、石山寺と浄土真宗系を中心にして、下記の通り10か所、23回の調査を行った。

訪問場所	石山寺	天台宗	本願寺派	真宗大谷派
場所（回数）	12回	2か所（2回）	2か所（4回）	1か所（1回）
訪問場所	真宗仏光寺派	神社	その他	
場所（回数）	1か所（1回）	1か所（1回）	2か所（2回）	

調査では、今まで知られていなかった平安、鎌倉時代の仏像や、中世に遡る仏画、その他文化財的価値のある宝物を多く確認した。また、今年度からは、仏像のX線CT撮影やファイバースコープを用いた仏像内部の撮影を行っている。さらに、昨年度に引き続き彫刻に関する報告書を作成し『大津の彫刻Ⅰ』として刊行する予定である。

### ③【大津町絵図プロジェクト】

江戸時代～明治時代の大津町（現在の中心市街地）を描く絵図「大津町絵図」は、全国の関係機関に収蔵されている。これは、かつて大津町に蔵屋敷・蔵元を設置した大名・旗本・寺社ら領主が、都市空間把握のために作成したと考えられるもので、藩政史料などのアーカイブや城下町図集などに多く残されている。本調査研究では、全国に所在する大津町絵図の調査とデジタルデータの収集を通じ、①江戸時代～明治時代の大津町の都市景観の把握のための資料として「大津町絵図データベース」を作成し（情報蓄積）、②許諾を得たものを順次当館HP古地図データベースにおいて、大津町の都市空間の変遷検討のための基礎データとして広く公開する（すでに各機関で公開されているものはリンクなど）。そして、③時宜に応じて、大津町絵図を紹介する展覧会を行う。

令和6年度は、未撮影の当館蔵（新規を含む）の大津町各町絵図13の高精細写真撮影を実施し、大津町絵図関係のデータを収集することができた。

### ④【未指定文化財調査報告書発刊事業】

令和元年に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、文化財の保存・活用の仕組みづくりとして、調査研究体制の整備や市民の興味関心を高める機会の提供が方針として掲げられた。本事業は、古文書・歴史資料について、市民参加を得て史料集を発刊、あわせてHPでの公表を行う。また、寺社の未指定文化財調査の成果（仏像）を刊行していく予定である。

令和6年度は『大津百艘船』1冊、『山元春拳追懐座談会』、『大津の彫刻1』の3冊を刊行した。

### ⑤【館蔵品や未指定文化財の燻蒸、修理】

未指定文化財調査等で発見、確認された文化財の保全をするために年2回の燻蒸を行っている。令和6年度は、1回目は石山寺における悉皆調査と関連して、石山寺の仏像を中心に、2回目は比叡山延暦寺の横川経塚資料を中心に、園城寺の聖教や古文書、堅田公益質屋関係などの燻蒸を行った。

また、文化財修復については、館蔵品の近江八景図巻の文化財修復を現在行っており、年度末で修理が完了する予定である。

### ⑥【文化財3Dスキャナー計測事業】

石仏や摩崖仏など、今後の劣化が予測される文化財について、3Dスキャナー計測を行うことで、正確な法量計測や、破損状況などの現状を把握する。令和6年度は、比叡山延暦寺「弥勒石仏」の計測を行った。

### ⑦【古文書・歴史資料整理・調査事業】

大津市内に伝来している古文書のうち、量が多く重要なものについて、大学と共同で調査を行っている。令和6年度は、当館寄託の膳所中村家文書（約20箱）と伊香立の龍家文書（約10箱分）について、佛教大学と京都府立大学と共同調査を行った。

### 【1-3】資料調査の実施状況（令和6年度）

本館では、継続的な資料調査の他に、他機関・専門家等との合同による資料調査を行っている（継続も含む）。

#### （1）科学研究費補助事業、大学・研究機関への協力・共同調査

- ・基盤研究B「越境する教義問答－東アジア仏教における国際的な相互交流－」（課題番号20H01186：代表者大谷由香〔龍谷大学〕令和2年～7年）

上記科研の研究協力者として、大津市内に所在する聖衆来迎寺や法明院、西教寺に伝来する聖教の調査研究を実施。

- ・基盤研究C「園城寺所蔵中世天台関係聖教の調査による天台談義書ネットワークの解明」（課題番号22K00299：代表者渡辺麻里子〔大正大学〕令和4年～令和8年）

- ・若手研究「船道郷土文書を基軸とした近江国堅田地域史料の再構築と通時代的研究」（課題番号20K13188：代表者高橋大樹〔佛教大学〕令和2年～令和6年）

館蔵居初家文書をはじめ、堅田に関わる文書・記録の悉皆調査を実施。

#### （2）その他の調査

- ・歴史博物館れきはく講座受講者で、古文書読解を目的とする有志で結成された研究会と、館蔵文書・関係文書の整理・解読を進めている。（平成25年～）

## 【1-4】 大津市歴史博物館調査報告書の発行

令和元年10月に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、文化財の保存・活用のための仕組みづくりとして、調査研究体制の整備や市民の興味関心を高める機会の提供が方針として掲げられている。本事業は市民参加による調査・研究の取り組みに資するものと考え、その成果物の発行は、市民参加による研究活動の成果であるとともに、大津の歴史研究の基礎資料として活用できるものである。また、本館では実施した未指定文化財調査の成果も、同報告書として刊行し、県内図書館・研究機関等に配布、あるいは史料集全文を本館ホームページで公開している。

令和6年度は、市民グループ（大津古文書輪読会）との共同で古文書を解読した史料集（1冊）を発行した。さらに令和3年度展覧会成果の一部として「山元春拳追懐座談会集」、未指定文化財調査関連報告として、「大津の彫刻」（1）を発行した

[令和6年度発行]

### （1）『大津市歴史博物館調査報告書9 大津百艘船万留帳5』

- 重要文化財「大津百艘船関係資料」のうち「万留帳」の文化6（1809）～同8年（1811）の3年分の史料集1冊（万留帳5）。江戸時代に琵琶湖水運の中心的役割を担った大津百艘船が書き継いだ留帳で、大津町の様子や琵琶湖水運の実態に迫る記録。

### （2）『大津市歴史博物館調査報告書10 春拳翁追懐座談会』

- 膳所出身の日本画家山元春拳の四十九日（1933年）に、故人を偲んで三夜にわたって親族と近い友人・門人が語った座談会記録。春拳にまつわる数々のエピソードの他、当時の画塾、画壇、美術学校、世相に関する興味深い筆記録を翻刻した。

### （3）『大津市歴史博物館調査報告書11 大津の彫刻1』

- 大津市内所在の6寺社に所蔵される彫刻計11件について、全方向からの鮮明なカラー写真と詳細な調書・解説を掲載した。さらに関連する文化財や所蔵先の寺社史についても解説で紹介した。

※令和7年度は、石山寺に伝来した彫刻について、蛍光X線分析などの科学的調査の知見を盛り込んだ調査報告書を作成予定。

## 【2-1】 常設展示観覧者数(令和6年4月～令和7年2月)

(単位:人)

	個人			団体			市内 65歳 以上	市内 障がい 者等	歴博 カード 会員	減免・ 招待	計	前年
	一般	高大	小中	一般	高大	小中						同月
4月	820	73	35	816	90	11	145	47	171	443	2,651	1,770
5月	1,395	146	41	1,654	102	7	382	85	319	466	4,597	1,421
6月	666	55	32	873	40	4	118	55	50	162	2,055	826
7月	1,161	71	111	910	86	16	250	70	267	334	3,276	1,431
8月	2,155	153	340	1,354	89	24	398	206	366	627	5,712	1,642
9月	970	80	73	856	33	24	99	58	87	207	2,487	1,000
10月	1,409	61	79	1,592	47	6	196	62	394	344	4,190	1,765
11月	1,575	93	46	2,270	87	10	174	30	560	1,369	6,214	2,417
12月	464	27	19	1,040	61	26	46	20	80	156	1,939	0
1月	444	26	49	775	20	7	64	52	102	105	1,644	2,153
2月	65	5	4	47	1	2	12	2	25	69	232	2,553
3月	398	60	29	199	0	0	49	12	123	23	893	2,447
計	11,522	850	858	12,386	656	137	1,933	699	2,544	4,305	35,890	19,425

※合計は3月分を除く

対前年比  
(3月分を除く) 16,465

※特集展示「源氏物語と大津」設営や館内改修工事のため、前年11月20日～1月9日の期間は常設展示室を休室した。

### 【参考】 常設展示観覧料

個人 一般330円 高校生・大学生240円 小学生・中学生160円

団体 一般260円 高校生・大学生190円 小学生・中学生130円

※団体は15人以上。

※大津市内在住の65歳以上の人は、小中学生料金と同額。

※大津市内在住の障がい者、介護保険の要介護者・要支援者及びその介護者1名は無料。

※歴博カード会員(一般2,000円 高大1,500円 小中1,000円)は記名本人のみ、登録から1年間有効で、常設展示ほか本館主催の企画展を何度でも観覧可能。

## 【2-2】特集展示「源氏物語と大津」

- 1、会期 令和6年(2024)1月10日(水)～令和7年2月2日(日)
- 2、会場 大津市歴史博物館 常設展示室・ロビー
- 3、主催 大津市歴史博物館
- 4、特別協力 大本山石山寺
- 5、観覧料 常設展示観覧料
- 6、展示作品 106件  
うち重要文化財1件、大津市指定文化財1件
- 7、入館者数 42,150人(うち有料観覧者36,309人 無料観覧者5,841人)  
◇有料内訳 個人 一般:13,789人 高大生:940人 小中生:1,053人  
割引 一般:14,153人 高大生:794人 小中生:154人  
市内(65歳以上)割引:2,585人 歴博カード会員:2,841人  
※割引の内、大河ドラマ館・三井寺との相互割引利用は4,680人

### 8、展示内容

紫式部が『源氏物語』を執筆したと伝わる石山寺に所蔵される美術作品を中心に、『源氏物語』と大津の関わりについて紹介。常設展示室の半分を改修して会場とし、会期を全6期に分け、各期でそれぞれ展示替えを行い、石山寺や融神社、市内発掘考古資料など合わせて106件を展示した。

それに加え、1階ロビー(無料)には以下の造作物を設置し、観覧者の理解促進に努めた。

- ・『源氏物語』デジタル絵巻(デジタルコンテンツ)  
54帖全てのあらすじ、人物相関図、絵画をタッチパネルで鑑賞。
- ・「四季の間」(デジタルコンテンツ)  
モーションセンサーと連動し、『源氏物語』の世界をイメージとして体感。
- ・大津の歌枕  
大津市内で歌枕として読まれる地名や景物を専用パネルで学ぶ。
- ・フォトスポット「源氏之間」  
石山寺本堂にある「源氏の間」をほぼ原寸大で再現し、中に入って記念写真が撮れる。
- ・常設展示室シアターにて「源氏物語と大津」と題した8分程度の動画を放映。

### 9、関連講座・イベント等

[記念講演会] ※定員100名(事前申込制)。1人500円(カード会員250円)。会場は博物館講堂。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
2月23日(金・祝) 14時～15時30分	源氏物語と大津	岩坪健氏(同志社大学教授)	114人 (申込322人)
4月13日(日) 14時～15時30分	源氏物語と大津	岩坪健氏(同志社大学教授)	90人 2月落選者より

[れきはく講座] ※定員100名(事前申込制)。1人500円(カード会員250円)。会場は博物館講堂。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
12月7日(土) 14時～15時30分	板谷派の源氏絵制作に見る創意	河田昌之氏(和泉市久保惣記念美術館館長)	50人 (申込81人)
12月14日(土) 14時～15時30分	源氏物語聖地巡礼—大津・京・宇治—	家塚智子氏(宇治市源氏物語ミュージアム館長)	85人 (申込150人)

[関連イベント] ※事前申込不要(当日の企画展観覧者対象)。会場は企画展示室内。

日時	主なトピック (当館ホームページで事前告知)	講師名	参加人数
3月31日(日) 18時～19時	講談「紫式部と月と源氏物語」・特集 展示スライドトーク	旭堂南風氏(講談師)・鯨井清隆 (本館学芸員)	61人
4月7日(日) 18時～19時	講談「紫式部と月と源氏物語」・特集 展示スライドトーク	旭堂南風氏(講談師)・鯨井清隆 (本館学芸員)	43人
9月29日(日) 14時～15時30分	講談「源氏供養 紫の想い」・特集展 示スライドトーク	旭堂南風氏(講談師)・鯨井清隆 (本館学芸員)	86人
10月18日(金) 14時～15時30分	体験講座 源氏物語の和歌を書く	田中貴光氏(書家)	19人
11月16日(木) 10時～11時30分	体験講座 源氏物語の和歌を書く	田中貴光氏(書家)	10人

◇講座・イベント参加人数合計：558人

(内訳 記念講演会：計204人、れきはく講座：計135人、関連イベント：計219人)

[その他イベント]

- ・書家の田中貴光氏の手本により、来館者に『源氏物語』に詠まれる和歌を書いてもらい、それをフォトスポット「源氏の間」に貼ってもらった。(8月14日から2月2日まで)
- ・観光客誘致のため、石山寺(豊浄殿)・三井寺(文化財収蔵庫)・歴史博物館の3拠点を巡るスタンプラリーを開催(3か所全て回ると景品をプレゼント)。(当館における配布数：362個)
- ・Xのハッシュタグキャンペーンを行い、フォローした方にオリジナルステッカーを配布した。(203枚)
- ・びわ湖大津観光協会主催の主催で「紫式部・平安貴族なりきり体験」を開催し、会期中の土日祝限定で、「源氏の間」フォトスポットにおいて着付け体験を行った。

## 10、制作物

- ・パンフレット1種(A5、50頁、オールカラー) 製作数：5,000部(寄贈分含む) 会期中の販売数1,805冊
- ・オリジナルグッズ：全15種(トートバッグ、エコバッグ、ぶちたおる、スリムサーモボトル(青・ピンク)、A5クリアファイル：2種、ふせん、マスキングテープ、缶バッジ：7種)

## 11、展覧会の成果と課題

【内容面】

- 石山寺や融神社の協力のもと、大津市と紫式部や『源氏物語』の関わりについて紹介することができた。
- 広く一般の大河ドラマファンに親しんでもらえるよう、初めての試みとして展示室内の内装を造作するとともに、ロビー等にも装飾を加え、展示造作に工夫を凝らした。
- 『源氏物語』をよりイメージできるよう、物語を体感的に学べるオリジナルのデジタルコンテンツを2種制作し、大変好評を得た。
- フォトスポットでは来館者に記念撮影してもらおうと共に、びわ湖大津観光協会と提携し、近江神宮衣装部より衣装を借り受け、着装体験を実施した。(600人)

【広報・集客・販売面】

- チラシ35,000枚(50,000枚増刷)・ポスター1,500枚を作成し、市内施設や関係機関に配布掲示依頼を行った。

- 特集展示「源氏物語と大津」開催中の常設展示室入館者数は 42,150 人であり、前年度当該期（2023年1月から11月、15,308人）と比べると約2.8倍となり、大きく上回った。
- 大河ドラマ館、三井寺のチケットによる相互割引を実施するとともに、石山寺豊浄殿、三井寺文化財収蔵庫、歴史博物館の3館スタンプラリーを実施し、周遊を促進した。

① ポスタービジュアル



② 展示風景



③ ロビーデジタルコンテンツ



『源氏物語』 デジタル絵巻



四季の間

④ フォトスポット



⑤ 解説パネル



## 【2-3】第93回企画展「紫式部と祈りの世界」

- 1、会期 令和6年(2024)4月27日(土)～5月19日(日)(20日間)
- 2、会場 大津市歴史博物館 企画展示室B
- 3、主催 大津市歴史博物館
- 4、観覧料 常設展示観覧料
- 5、展示作品 17件  
うち国宝3件、重要文化財6件、大津市指定文化財1件
- 6、入館者数 4,441人(うち有料観覧者3,877人 無料観覧者564人)  
◇有料内訳 個人 一般:1,338人 高大生:158人 小中生:48人  
割引 一般:1,542人 高大生:72人 小中生:11人  
市内(65歳以上)割引:304人 歴博カード会員:404人

### 7、展示内容

紫式部が生きた平安時代中期から後期の文化を、仏教という視点から紹介した。石山寺に所蔵される最古の肖像画である「紫式部聖像」に加えて、藤原道長が作らせた経筒(国宝)、書いた経典(国宝)、娘の彰子が作らせた経箱(国宝)を展示。さらに堅田・浮御堂の秘仏である聖観音像(重文)をはじめ市内所在の同時代に作られた仏像や経典などを展示した。

### 8、関連講座・イベント等

[れきはく講座] ※定員100名(事前申込制)。1人500円(カード会員250円)。会場は博物館講堂。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
4月27日(土) 14時～15時30分	祈りと救済の絵画 ―平安時代の女性と仏教―	山本聡美氏(早稲田大学文学部教授)	97人 (申込158人)
5月10日(金) 14時～15時30分	藤原氏の栄華 ―道長の経筒・彰子の経箱―	宮川禎一氏(京都国立博物館特任研究員)	94人 (申込198人)
5月17日(金) 14時～15時30分	日本仏教の中の女性たち ―比丘尼戒壇をめぐる―	大谷由香氏(京都大学白眉センター特任准教授)	91人 (申込175人)

◇講座参加人数合計:282人(3回)

### 9、展覧会の成果と課題

#### 【内容面】

- 大河ドラマの主役である紫式部、藤原道長、中宮彰子にまつわる遺品を一堂に展示すると共に、市内各所の同時代の仏像や考古遺物などを展示し、大津の豊かな歴史と仏教文化を紹介することができた。
- 17件という少ない出陳数ながらも、国宝3件、重要文化財6件、大津市指定文化財1件という貴重な文化財の数々を市民の皆様に見ていただくことができた。
- 予算の都合上、図録を制作することはできなかったが、内容を紹介したパネルを展示することでより深く学べるよう工夫し、さらにその文章をホームページ上で公開した。

#### 【広報・集客・販売面】

- チラシ35,000枚・ポスター1,500枚を作成し、市内施設や関係機関に配布掲示依頼を行った。
- 開催日数は少ないながらも、1日あたり200人以上の方々にお越しいただいた。

10、アンケート結果（抄） 全体回答者数 55 人（コメント有 42 人、無 13 人）

◎回答者の年齢

①～10代：8人 ②20代：3人 ③30代：5人 ④40代：6人 ⑤50代：15人  
⑥60代：14人 ⑦70代：11人 ⑧80代：0人 ⑨90代以上：0人

※内、小学生0人、中学生0人、高校生1人、大学生2人、その他の学生1人

◎大津市歴史博物館（企画展観覧）への来館回数（※無回答1人）

①初めて：21人 ②2回目以上 34人

◎展示内容の満足度

[展示内容]（※無回答17人）

①大変満足：26人 ②満足：25人 ③普通：3人 ④不満：0人 ⑤大変不満：0人

[説明文の内容や分かりやすさ]（※無回答19人）

①大変満足：23人 ②満足：17人 ③普通：10人 ④不満：1人 ⑤大変不満：0人

◎感想・意見など（基本的に文面のままとし、補足部分には※をつけた）

内容	年齢
山本先生の講座を聞いてみましたので、とても良くわかりました。仏像や宝相華文教箱など展示品の保存状態がとてもよかったのにビックリしました。道長の直筆の写経が見れてよかったです。	70代
金銅製の経箱や経筒は有名なものなのに今まで実見したことがなかったので、来て見れて大変よかった。 よく集めて下さったと思います。	60代
子供でも分かりやすいようにフリガナがふってあったり可愛いキャラクターがかいてあったりしてあり、とてもよかった。	高校生
大河ドラマを見ています。 平安時代を理解するのに末法思想が重要なことが分かりました。その時代の仏像も見られてとても勉強になりました。解説文も私には調度いい分量でした。出品物、コンセプト、いずれも最高で感動しました。ありがとうございました。	40代
比叡山の経塚群や滋賀県内の寺院の仏像など、身近にあるのに今まで存在を知らなかったものをたくさん見ることができて勉強になった。	大学生
非常に充実した展示、また解説もしっかりしており内容も興味深いものが多くありました、それだけに図録が無いのが非常に残念です。後日発刊でもよいので（解説文だけでも良いです）出版またはWebサイトで公開して頂けるとありがたいです。	50代

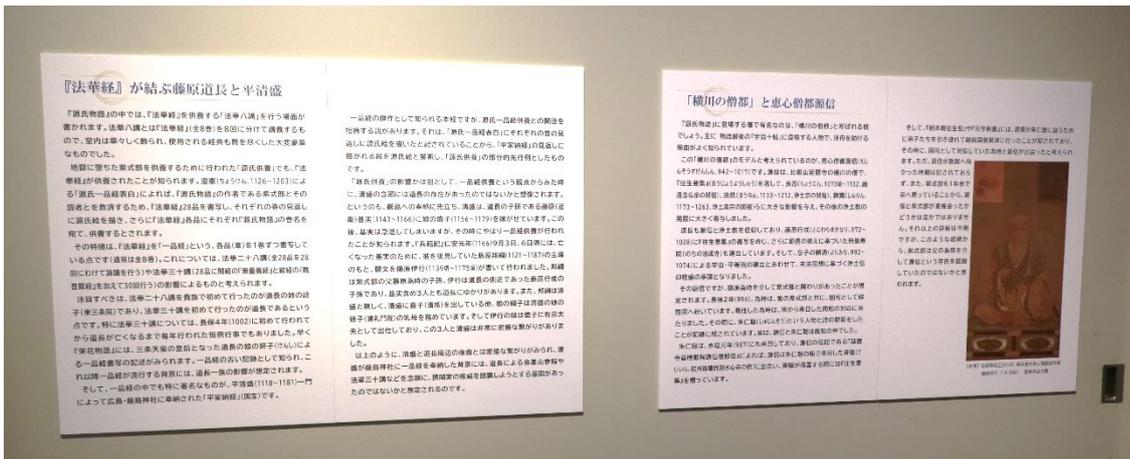
① チラシビジュアル



② 展示風景



③ 会場内パネル



## 【2-4】第94回企画展「京極高次」の結果

- 1、会期 令和6年(2024)7月20日(土)～9月1日(日) [開館日数38日間]
- 2、会場 大津市歴史博物館 企画展示室A
- 3、主催 大津市歴史博物館
- 4、後援 朝日新聞大津総局、e-radio、NHK大津放送局、共同通信社大津支局、京都新聞、KBS京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、BBCびわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局
- 5、観覧料 一般800円(640円)・高大生400円(320円)・小中生200円(160円)  
※( )内は各種割引適用時の料金。
- 6、展示作品 131件  
うち重要文化財4件、県指定文化財3件、市指定文化財12件
- 7、入館者数 3,644人(うち有料観覧者3,028人 無料観覧者616人)  
◇有料内訳 個人 一般：1,304人 高大生：87人 小中生：109人  
割引 一般：772人 高大生：64人 小中生：3人  
市内(65歳以上)割引：247人 歴博カード会員：399人  
障がい者等割引：43人

### 8、関連講座・イベント

[れきはく講座] ※事前申込制。会場は大津市歴史博物館講堂。各回90分。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
7月28日(日) 14時～	高次以前の京極氏～鎌倉期始祖から戦国期まで～	太田浩司氏(長浜市曳山博物館館長)	94人 (申込205人)
8月9日(木) 14時～	京極高次の手紙を読む	五十嵐正也(本館学芸員)	85人 (申込167人)
8月17日(土) 14時～	高次の後継者・京極忠高一近江・若狭・出雲一	西島太郎氏(追手門学院大学文学部教授)	97人 (申込223人)
8月24日(土) 14時～	京極高次をめぐる女性たち	福田千鶴氏(九州大学基幹教育院教授)	98人 (申込228人)

[ギャラリートーク] ※事前申込不要。会場は企画展示室内。各回60分程度。

日時	主なトピック	講師名	参加人数
8月1日(木) 14時～	京極高次の出生から大津城主時代まで	五十嵐正也(本館学芸員)	24人
8月22日(木) 14時～	大津城の戦い	同上	32人
8月29日(木) 14時～	若狭国主時代と京極高次の一族	同上	25人

◇講座・イベント参加人数合計：455人(れきはく講座：計374人、ギャラリートーク：81人)

### [ワークシート]

展示内容に合わせたオリジナルワークシートを難易度別に2種類作成し、受付にて配布。参加者には企画展オリジナル記念シール3種をプレゼントした。

- ◇参加数 ワークシート（むずかしい※小学校高学年以上）……420 枚  
ワークシート（かんたん ※小学校低学年程度）……305 枚

## 9、刊行物 図録『京極高次』（A4判変型、96頁オールカラー）

製作数：1,400冊（寄贈用500冊を含む）、販売価格：1,400円（一般）・1200円（カード会員割引価格）

◇会期中の販売実績：481冊

## 10、展覧会の成果と課題

### 【内容面】

- 大津城主として活躍し、その後の大津に大きな影響を与えた京極高次について、一般の認知度は低く、名前は知っていてもその生涯や事績はほとんど知られていない状況であった。一方で、今村翔吾氏の直木賞受賞作『塞王の楯』の重要な登場人物であるなど、高次に関する世間的な関心は高まっていた。また、従前より、戦国時代から江戸時代初期までの大津市域を対象とした企画展を望む声があった。大津城主時代や高次が活躍した大津城の戦いを中心として、高次の生涯を紹介するものとして本展を実施した。
- 本展では、高次の生涯を紹介するものとして、その出生から亡くなるまでのものを歴史資料を中心に展示した。また、高次の妻である初（常高院）や妹である龍（松ノ丸）を中心に一族のものを展示した。加えて、京極家由来の旗指物や銚子などの工芸品、京極家菩提寺である徳源院ゆかりのものを展示した。
- 展示は、おおむね時代順の構成とし、最後に高次の一族をまとめて紹介した。また、夏休み時期の開催であるため、小・中学生の来館を見込んで、2種類のワークシートを作成・配布した。親子や大人の参加も多く、好評であった。
- 展示解説は、理解しやすいことを意図して、わかりやすく簡潔になるよう作成した。各資料の展示解説の上部に記した一言キャプションもわかりやすいと好評であった。一方、小中学生向けのものを特に作成しなかったため、難しいという声や説明が不十分という指摘もあった。

### 【集客・販売面】

- チラシ35,000枚・ポスター1,500枚を作成し、通常通り市内施設や関係機関に配布掲示依頼をおこなった。また、借用先などでホームページ等による広報を行ってくださるところがあった。
- 一日平均で約100人の来館者があったが、猛暑や台風の影響もあってか、そこまで来館者が伸びなかった。一方で、図録の販売数は好調であり、企画展会期中38日間で481冊であった。また、遠方からの通信販売も堅調である。

11、アンケート結果（抄） 全体回答者数 98 人（コメント有 81 人、無 17 人）

◎回答者の年齢

- ①～10代：12人 ②20代：8人 ③30代：2人 ④40代：19人 ⑤50代：20人  
⑥60代：21人 ⑦70代：9人 ⑧80代：7人 ⑨90代以上：0人

※内、小学生8人、中学生1人、高校生1人、大学生1人、その他の学生2人

◎大津市歴史博物館（企画展観覧）への来館回数（※無回答1人）

- ①初めて：40人 ②2回～5回目：37人 ③6～9回目：5人 ④10回目以上 15人

◎展示内容の満足度

[展示内容]（※無回答17人）

- ①大変満足：46人 ②満足：25人 ③普通：9人 ④不満：1人 ⑤大変不満：0人

[説明文の内容や分かりやすさ]（※無回答19人）

- ①大変満足：43人 ②満足：26人 ③普通：8人 ④不満：2人 ⑤大変不満：0人

◎感想・意見など（基本的に文面のままとし、補足部分には※をつけた）

内容	年齢
きょうごくのかげいずが分かりやすくとても良いと思いました。	10代 小学生
京極高次展は、古文書の量の多さに圧倒されました。また、各所に関連する現地の写真があったり、高次のキャラを模したイラストがあるところ、キャプションの上に添えられた一言のセンスなど、随所に見所があって、とても面白かったです。	20代
大津ろう城戦についてが大変興味深かった。また、よく知らなかったが花押についてのコラムがおもしろかった。京極高次ならびにその関係者に興味が持てたので書籍等調べたいと思った。	20代
全国の展示をみたわけでもないが、今年見たものとしては本当に充実していると思いました。全国の史料見ている成果が生かされていると思います。	40代
古文書等 文字資料が多かったので充実していますが、読むのにつかれました（笑）	40代
高次の生涯や家族関係がよく分かった。展示物も豪華。女性の肖像画が多いのも珍しい。	40代
企画展「京極高次」を開催頂きありがとうございます。 展示物の多数を占める当時の文字が全く読めず、これが読めれば面白いのだろうと感じました。（もちろん解説してくださっていたので、おおよその内容はわかるのですが、）それと写真や地図を更に増やして欲しいと思いました。例えば、明智光秀に味方した頃の大名の勢力地図やその関係などを。全体としては大変興味深く自分でも京極高次という大名の情報を掘り下げようと思いました。	50代
「わたしの湖西線」が目的だったのですが、「とりあえず京極も見ておこうか～」と気軽な気持ちで見はじめて、びっくり！ものすごい情報量！いろいろな人物とのつながりがあって面白い！！私は高島市なのですが、ちょっと大溝城にいただけの人と思っていたのが、たくさんエピソードがあっておどろきました。みごたえ十分でした。	50代
関ヶ原・大津城の戦いで有名ですが、それ以外の事をあまり知る機会がなかったので、大変勉強になりました。	50代
翻刻文が並んであると、書状がよりわかりやすかったと思う。夏休みの会期だったので、子どもさん向けには大意がつかめる点ではよかったが、少し足りない気分になる。	60代

① ポスタービジュアル



② 展示風景



③ ワークシート (左:おずかしい、右:かんたん)

【読書】展示台を机にせぬ事!! 鉛筆を使うべし! ボールペンはご法度である!! 展示室内ではお静かに!!

＜高次は語る!＞  
**問1** 展示NO.2「京極高次像」もめて立像を再現しよう!  
 わしは京極高次と申す。わしの肖像を思ってください! 描画がよくて、穏やかな印象。じゃあ、髪と顔の線(髪の色と顔の輪郭)には真豆。縁取があしらわれておらんじやよ。この肖像画に市にあるわしの寺認庵の電話亭裏面に伝わってあるの。あ、あがないことじやない。

＜実録!大津城城破の最前線!＞  
**問3** 大津城城破の最前線! 大津城の陥落を再現しよう!  
 大津城城破の最前線! 大津城の陥落を再現しよう! 大津城の陥落を再現しよう! 大津城の陥落を再現しよう!

＜高次さんの黒印よ〜く見せて!＞  
**問5** 展示NO.8「京極高次家紋」をみて、黒印されている印の輪郭は何をまわして見よう?  
 ① 梨林(カリス) ② 聖体(ホステア) ③ 聖器物(アボリウム)

＜お城探偵になろう!＞  
**問4** 展示NO.5「大津城の陥落」を再現しよう。  
 大津城の陥落を再現しよう! 大津城の陥落を再現しよう! 大津城の陥落を再現しよう!

＜押巻なる一族の贈り物!＞  
**問6** 展示NO.10「押巻なる一族の贈り物」をみて、押巻なる一族の贈り物は何をまわして見よう?  
 押巻なる一族の贈り物! 押巻なる一族の贈り物! 押巻なる一族の贈り物!

＜将園なかよし便り!＞  
**問2** 展示NO.3「将園なかよし便り」をみて、将園なかよし便りは何をまわして見よう?  
 ① 京極高次 ② 前田利家 ③ 井伊直政 ④ 織田信長

全問解答したら2階受付へ参れよ!! さすれば素敵な褒賞がもらえるぞ!

※博物館の約束※ 展示台を机にしなさいね! 鉛筆を落してね! 大きな声を出したり走ったりしなさいね!

**問題1** この城の名前はなんだろう?  
 わしは京極高次。城の城主だ。

**問題2** 不思議な文字だね!  
 これは「花押」といって、今でいう「サイン」だよ! 誰の花押かな? 花押と名前を線でつないでね!

**問題3** 絵がいっぱいあるね! これは「家紋」という一族をあらわすマークだよ! 展示を見て、下の家紋の中から京極家の家紋を2つ選んで○してね!

ヒントは 展示してある手紙! 手紙の最後にはわしのサインがあるぞ!

ひらがな3文字だよ!

全部答ええられたら2階受付に持って行こう! ステキなプレゼントがもらえるぞ!

④ 講座・ギャラリートーク風景



## 【2-5】JR 湖西線開業 50 周年記念(第 95 回企画展)「わたしの湖西線」

- 1、会期 令和 6 年(2024)7月20日(土)～9月1日(日) [開館日数 38 日間]
- 2、会場 大津市歴史博物館 企画展示室 B
- 3、主催 大津市歴史博物館
- 4、協力 湖西線利便性向上プロジェクト推進協議会
- 5、後援 朝日新聞大津総局、e-radio、共同通信社大津支局、京都新聞、KBS 京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV 滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、BBC びわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局
- 6、観覧料 一般 330 円(260 円)・高大生 240 円(190 円)・小中生 160 円(130 円)  
※常設展示観覧料を適用。( )内は各種割引適用時の料金。
- 7、展示作品 132 点(資料 74 点、写真パネル 58 点)
- 8、入館者数 8,281 人(うち有料観覧者 7,059 人 無料観覧者 1,222 人)  
※会期中の常設展示観覧者数

### 9、関連講座

【れきはく講座】※定員 100 名(事前申込制)。1 人 500 円(カード会員 250 円)。会場は博物館講堂。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
7月27日(土) 14時～15時30分	湖西路に「国鉄」が走った日	福田静二氏(同志社大学鉄道同好会クローバー会) 木津勝(本館副館長)	117 人 (申込 152 人)

【ギャラリートーク】※事前申込不要(当日の企画展観覧者対象)。会場は企画展示室内。

日時	講師名	参加人数
8月16日(金)10時30分～(60分程)	木津勝(本館副館長)	18 人
8月22日(金)10時30分～(60分程)	別井敬之氏(NHK 大津放送局アナウンサー)	66 人

10、刊行物 パンフレット(A4判、8頁カラー、観覧者に配布) 製作数:3,000冊(ホームページ公開)

### 11、展覧会の成果と課題

【成果】

- 開業 50 周年を迎える湖西線を紹介する展示として、県と沿線市町で構成する湖西線利便性向上プロジェクト推進協議会と連携を図りながら事業を進めることができた。同協議会との連携では、県や高島市広報のほか関連事業の中でも積極的に告知いただいた。また、企画展にあわせて、上記協議会主催による湖西線の利用向上に関するパネル展示が行われた。
- 展覧会開催に先駆けて湖西線の思い出を募集したほか、会場内でも記載できるようにしたところ、300 通を超える思い出や感想が集まった。会場内での写真撮影や会話について OK としたこともあり、にぎやかな空間を作ることができた。
- 鉄道への関心だけでなく、身近な地域の歴史として展示観覧された方も多く、来館者層の広がりを実感した。小学校から大学生の観覧者数が他の期間よりも多かった。
- NHK 大津放送局からは、思い出の募集や関連ニュースの放映などの協力のほか、館内での過去の湖西線に関する映像の上映スペースの設置、同局アナウンサーによるギャラリートークなど、展覧会にあわせた催しについて、協力を得られた。
- 他の展覧会との相乗効果もあり、多くの観覧者にお越しいただけた。他機関との連携も積極的に行なえたことから、今後もこうした連携を心がけたい。

## 【反省点と今後の課題】

- 想定以上の来館者にお越しいただいたことから、会期中で希望者に配布したパンフレットの在庫がなくなることとなった。PDFデータを配布することで対応したが、配布時の告知や配布方法、準備部数について課題を残した。

## 12、アンケート結果（抄）

### ◎自由記入欄より印象的な意見（一部略・抜粋あり）

- ・ 湖西線の展示は、もっと湖西線に乗車したい！という気持ちが高まりました。(20代)
- ・ 湖西線のこれから（協議会のパネル展）についての展示も見ていて、とてもよい勉強になりました。みんなで公共交通機関を利用して守っていくことは、みんなにとって必要不可欠といえると思います。私も自分ができることをしたいです。(不明)
- ・ 湖西線の展示、地元の方の出展の展示で好感がもてた。とは言え、折角の50年、もっと大々的に開催～PRしてもよかったのでは、と思います
- ・ 湖西線の誕生秘話が知れて、勉強になった。湖西線がどういういきさつで今のようなものになったのかが明確且つ簡潔に書かれていて、見る人に配慮ができていたと感じた。(中学生)
- ・ 「わたしの湖西線」が目的だったのですが、「とりあえず京極も見ておこうか～」と気軽な気持ちで見はじめて、びっくり！ものすごい情報量！いろいろな人物とのつながりがあって面白い！！私は高島市なのですが、ちょっと大溝城にいただけの人と思っていたのが、たくさんのエピソードがあっておどろきました。みごたえ十分でした。(50代)



① 展示風景



② 思い出メモ



③ 推進協議会の展示



④ ギャラリートーク

## 【2-6】第96回企画展「石山寺—密教と観音の聖地—」

- 1、会期 令和6年(2024)10月12日(土)～11月24日(日) [開館日数38日間]
- 2、会場 大津市歴史博物館 企画展示室A・B
- 3、主催 大津市歴史博物館
- 4、後援 朝日新聞大津総局、e-radio、NHK大津放送局、共同通信社大津支局、京都新聞、KBS京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、BBCびわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局
- 5、観覧料 一般1000円(800円)・高大生600円(480円)・小中生200円(160円)  
※( )内は各種割引適用時の料金。
- 6、展示作品 143件  
うち国宝5件、重要文化財18件、滋賀県指定文化財5件、大津市指定文化財1件
- 7、入館者数 5,416人(うち有料観覧者4,709人 無料観覧者707人)  
◇有料内訳 個人 一般：1,922人 高大生：113人 小中生：20人  
割引 一般：1,554人 高大生：89人 小中生：6人  
市内(65歳以上)割引：256人 歴博カード会員：724人  
障がい者等：25人

### 8、関連講座・イベント等

[記念講演会] ※定員100名(事前申込制)。1人500円(カード会員250円)。会場は博物館講堂。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
10月24日(木) 14時～15時30分	石山寺の歴史と文化	鷲尾龍華(大本山石山寺座主)	100人 (申込182人)
11月3日(日) 14時～15時30分	石山寺縁起絵巻を読み解く	國賀由美子氏(大谷大学教授)	93人 (申込181人)
11月9日(土) 14時～15時30分	石山寺の金銅仏—金属組成分析を踏まえて—	藤岡穰氏(大阪大学教授)	78人 (申込126人)

[れきはく講座] ※定員100名(事前申込制)。1人500円(カード会員250円)。会場は博物館講堂。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
10月26日(土) 14時～15時30分	石山寺本尊・観音三尊像の変遷	柘植健生(本館学芸員)	80人 (申込127人)
11月16日(土) 14時～15時30分	石山秋月について—紫式部・広重・古写真—	横谷賢一郎(本館学芸員)	76人 (申込121人)
11月23日(土・祝) 14時～15時30分	観音三十三身説について—石山寺三十三応現身像の理解のために—	赤津将之(本館学芸員)	75人 (申込134人)

[ギャラリートーク] ※事前申込不要(当日の企画展観覧者対象)。会場は企画展示室内。

日時	主なトピック(当館ホームページで事前告知)	講師名	参加人数
10月17日(木) 14時～(30分程)	観音信仰と石山寺	赤津将之(本館学芸員)	16人
10月31日(木) 14時～(30分程)	石山寺縁起絵巻を中心に	鯨井清隆(本館学芸員)	30人
11月7日(木) 14時～(30分程)	古文書からみる石山寺の歴史	奥芝理沙(本館学芸員)	21人

11月14日(木)	石山寺開帳と参詣 14時～(30分程)	高橋大樹(本館学芸員)	27人
11月21日(木)	石山寺の聖教と密教図像 14時～(30分程)	柘植健生(本館学芸員)	60人

◇講座・イベント参加人数合計：656人（れきはく講座：計502人、ギャラリートーク：計154人）  
〔ワークシート〕

展示内容に合わせたオリジナルワークシートを作成し、受付にて配布。参加者には記念ステッカー（企画展オリジナル全3種類）をプレゼントした。

◇参加数 ワークシート……619枚

#### 9、刊行物 図録『石山寺—密教と観音の聖地—』（A4判変型、144頁オールカラー）

製作数：1,400冊（寄贈用400冊を含む）、販売価格：1,700円（一般）1,500円（カード会員割引価格）

◇会期中の販売実績：651冊（一般：580冊、会員：71冊）

### 10、展覧会の成果と課題

#### 【内容面】

- 近年、石山寺は紫式部などの女流文学者とのかかわりから注目を集めている。一方で、文学の寺としての性格に加えて、奈良時代以来の観音信仰や、多くの学僧が集った密教修学の伝統など、石山寺は様々な側面を有する。文学をきっかけとして石山寺に関心を持った方に、石山寺の歴史とそれを取り巻く仏教文化を知っていただくために、本展では「密教」と「観音」というふたつの視点を通じて石山寺を紹介するものとして本展を実施した。
- 石山寺は国指定文化財を多数所蔵しており、調査研究が絶えず行われてきたが、石山寺そのものの歴史については不明な点が多い。そこで、本展では、近年の調査成果を盛り込み、これまで公開されてこなかった仏像・仏画・聖教・古文書を多数展示した。
- 展示は、前半は石山寺の歴史を通史的に紹介し、後半は仏画・仏像などをまとめて展示した。展示内容に合わせたワークシートを作成し、展示内容の理解に役立つと好評であった。
- 聖教・文書など難解な展示品が多いため、展示解説はやや字数が増えるものの平易かつ丁寧なものを作成した。展示解説はわかりやすいとおおむね好評であったが、一方で登場人物の関係や背景知識がないと難しいとの指摘もあった。

#### 【広報・集客・販売面】

- チラシ35,000枚・ポスター1,500枚を作成し、通常通り市内施設や関係機関に配布掲示依頼を行った。
- 来館者数は全体として好調で、記念講演会・れきはく講座などのイベント参加人数も堅調であった。遠方からの来館される方もおり、広報・集客について一定の効果がみられた。一方、会期を通じて小中学生の集客が伸びなかった。小中学校への周知や、子ども向けワークシートの作成などを通じて、こうした層への訴求力を高める必要がある。
- 図録販売数は好調であり、会期38日間で651冊であった。

11、アンケート結果（抄） 全体回答者数 52 人（コメント有 48 人、無 4 人）

◎回答者の年齢

①～10代：0人 ②20代：5人 ③30代：5人 ④40代：6人 ⑤50代：18人  
⑥60代：12人 ⑦70代：3人 ⑧80代：3人 ⑨90代以上：1人

※内、小学生0人、中学生0人、高校生0人、大学生3人、その他の学生1人

◎大津市歴史博物館（企画展観覧）への来館回数（※無回答1人）

①初めて：15人 ②2回～5回目：20人 ③6～9回目：5人 ④10回目以上 12人

◎展示内容の満足度

[展示内容]

①大変満足：28人 ②満足：22人 ③普通：2人 ④不満：0人 ⑤大変不満：0人

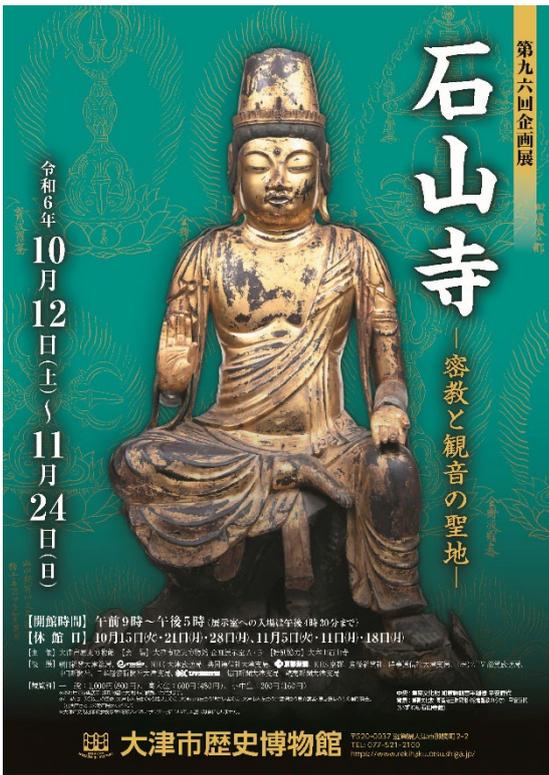
[説明文の内容や分かりやすさ]（※無回答2人）

①大変満足：24人 ②満足：20人 ③普通：3人 ④不満：3人 ⑤大変不満：2人

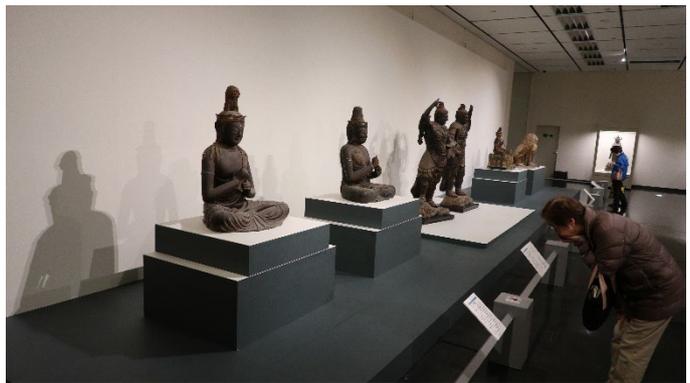
◎感想・意見など（基本的に文面のままとし、補足部分には※をつけた）

内容	年齢
充実した内容で学べる点が多かった。	40代
石山寺に伝来する聖教類や新発見の寺物等見応えがありました。	30代
説明文も大変分かりやすく、緑の枠に書いてある一文ものを得ていて面白く観覧できました。遠方から訪れてとても良かったです！	40代
石山寺の成り立ちから、観音信仰・経典の多さなど、その理由も分かりやすく、順序立っていて楽しかった。特に薫聖典の箇所での説明があった読み方を示した赤字が宗派や師弟で異なることは新しい発見だった。	30代
ワークシートを見ながら展示物を見ていくと、ポイントがつかめて良かった	50代
文書（見てたいくつしやすい）がいてねいな説明でわかりやすかったです。ここまでいてねいな説明ははじめてです。	60代
解説文は分かりやすいと感じたが、予備知識（仏像について、石山寺についてなど）がある程度ないと鑑賞する（理解する）のは少し厳しいと感じた。	20代
国宝が4度に分かれて出展されていたため、何度も足を運ぶことになってつらかった。	40代
石山寺からまわって来たのでとても興味深くみました	60代
石山寺の多宝塔の大日如来(快慶作)が拝めてうれしかった。	60代
久しぶりの石山寺展。ありがとうございます。	90歳以上
毎年、奈良の正倉院展に行くのですが、今回はその帰りに大津市に来てみました。（静岡市在住）石山寺がその時代からあることを少し前に知ったため興味を持ちましたが、大変勉強になりました。石山寺に五月一日経があるのもこちらで初めて知りました。	50代
好きな仏様が多く、貴重な書も展示がありよかったです。	50代
解説がとても丁寧に書かれていることに感心しました。この博物館の学芸員さんのまじめさが伝わりました。	60代
石山寺へは何回も参詣していますが、沢山の文書から、建立当時も、現代も多くの人々に親しまれていたことが知れてよかったです。	80代

① ポスタービジュアル



② 展示風景



③ ワークシート



④ 講座・ギャラリートーク風景



## 【2-7】れきはく講座等の実施状況

	開催日	タイトル	講師	申込み	当選者	参加者
1	4月7日	講演「紫式部と月と源氏物語」・特集展示スライドトーク	旭堂南風(きょくどうなんふう)氏	105	105	43
2	4月13日	源氏物語と大津	岩坪 健氏(同志社大学教授)	322	140	90
3	4月27日	祈りと救済の絵画—平安時代の女性と仏教—	山本聡美氏(早稲田大学文学学術院教授)	158	120	97
4	5月10日	藤原氏の栄華—道長の経筒・彰子の経箱—	宮川禎一氏(京都国立博物館特任研究員)	198	120	94
5	5月17日	日本仏教の中の女性たち—比丘尼戒壇をめぐる—	大谷由香氏(龍谷大学文学部特任准教授)	175	120	91
6	7月27日	スタンプでオリジナルの大津絵うちわを作ろう	山田真実氏(木版画家、成安造形大学地域実践領域助教)	30	27	21
7	7月27日	湖西路に「国鉄」が走った日	福田静二氏(同志社大学鉄道同好会クローバー会)	152	120	117
8	7月28日	高次以前の京極氏〜鎌倉期始祖から戦国期まで〜	太田浩司氏(長浜市曳山博物館館長)	205	120	94
9	8月1日	高次展ギャラリートーク1回目	五十嵐正也(本館学芸員)	申込不要	申込不要	24
10	8月9日	京極高次の手紙を読む	五十嵐正也(本館学芸員)	167	120	85
11	8月16日	湖西線展ギャラリートーク1回目	木津勝(本館副館長)	申込不要	申込不要	18
12	8月17日	高次の後継者・京極忠高一近江・若狭・出雲—	西島太郎氏(追手門学院大学文学部教授)	223	120	97
13	8月22日	湖西線展ギャラリートーク2回目	別井敬之氏(NHK大津放送局アナウンサー)	申込不要	申込不要	66
14	8月22日	高次展ギャラリートーク2回目	五十嵐正也(本館学芸員)	申込不要	申込不要	32
15	8月24日	京極高次をめぐる女性たち	福田千鶴氏(九州大学基幹教育院教授)	228	120	98
16	8月29日	高次展ギャラリートーク3回目	五十嵐正也(本館学芸員)	申込不要	申込不要	25
17	9月14日	【現地見学会】なぎさ公園さんぽ—昔の湖岸探検!—	木津勝(本館副館長)	105	30	27
18	9月29日	講演「源氏供養 紫の想い」・特集展示スライドトーク	旭堂南風氏(講師)	100	120	86
19	10月17日	石山寺展ギャラリートーク1回目	赤津将之(本館学芸員)	申込不要	申込不要	16
20	10月18日	体験講座 源氏物語の和歌を書く	田中貴光氏(書家)	36	20	15
21	10月24日	石山寺の歴史と文化	鷲尾龍華氏(大本山石山寺座主)	182	120	100
22	10月26日	石山寺本尊・観音三尊像の変遷	柘植健生(本館学芸員)	127	120	80
23	10月31日	石山寺展ギャラリートーク2回目	鯨井清隆(本館学芸員)	申込不要	申込不要	30
24	11月3日	《石山寺縁起絵巻》を読み解く	國賀由美子氏(大谷大学文学部教授)	181	121	93
25	11月7日	石山寺展ギャラリートーク3回目	奥芝理沙(本館学芸員)	申込不要	申込不要	21
26	11月9日	石山寺の金銅仏—金属組成分析を踏まえて—	藤岡穰氏(大阪大学大学院文学部研究科教授)	126	120	78
27	11月14日	室町・戦国時代の経済と消費—大津酒と公家山科家—	酒匂由紀子氏(花園大学講師)	121	121	87
28	11月14日	石山寺展ギャラリートーク4回目	高橋大樹(本館学芸員)	申込不要	申込不要	27
29	11月16日	体験講座 源氏物語の和歌を書く	田中貴光氏(書家)	51	20	10
30	11月16日	石山秋月について—紫式部・広重・古写真—	横谷賢一郎(本館学芸員)	121	121	76
31	11月21日	石山寺展ギャラリートーク5回目	柘植健生(本館学芸員)	申込不要	申込不要	60
32	11月23日	観音三十三身説について[ —石山寺三十三応現身像の理解のために—	赤津将之(本館学芸員)	134	120	75
33	12月7日	板谷派の源氏絵制作に見る創意	河田昌之氏(和泉市久保惣記念美術館館長)	81	81	50
34	12月8日	マイ大津絵カレンダーを作ろう	日本大津絵文化協会 会員	56	28	24
35	12月14日	大津絵の絵馬を作ろう	佐藤実真氏(大津絵アーティスト) 横谷賢一郎(本館学芸員)	58	28	24
36	12月14日	源氏物語聖地巡礼—大津・京・宇治—	家塚智子氏(宇治市源氏物語ミュージアム館長)	150	120	85
37	1月11日	古文書リレー講座① 判物・印判状を読む	五十嵐正也(本館学芸員)	103	103	79
38	1月18日	古文書リレー講座② 禁制・制札を読む	奥芝理沙(本館学芸員)	115	115	84
39	1月25日	古文書リレー講座③ 起請文を読む	吹上竜司(文化財保護課技師)	118	118	86
40	2月1日	日本フェノロサ学会共同開催講座 岡倉天心とインドー反響するアジア美術史観	外川昌彦(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授)	92	92	66
41	2月2日	ワークショップ「オリジナル花押を作ろう」(午前の部)	本館学芸員	17	17	15
42	2月2日	ワークショップ「オリジナル花押を作ろう」(午後の部)	本館学芸員	20	20	19
43	2月27日	大津市文化財保護課共催 おおつの歴史再発見!現地見学会 園城寺編	本館学芸員、文化財保護課職員	40	40	33
44	3月1日	近世初期の石垣普請になった坂本の「穴太」	杉江進(本館館長)	213	120	101
45	3月5日	叡山学院共同開催 特別公演 第13回叡山学院声明公演	叡山学院修学生 約20名	80	49	37
46	3月15日	江戸時代の日吉茶園	高橋大樹(本館学芸員)	170	120	91
47	3月20日	【現地見学会】なぎさ公園さんぽ—昔の湖岸探検!—	木津勝(本館副館長)	100	30	18
48	3月22日	日本フェノロサ学会共同開催講座 東京美術学校における「斐諾洛薩(フェノロサ)先生碑」の建立を巡って	芹生春菜(東京藝術大学未来創造継承センター学術インストラクター)	93	93	62
合計				4,753	3,439	2,847

## 【2-8】講座以外の普及活動

### 【成安造形大学共同企画 夏休みおもちゃづくりワークショップ2024】

歴史博物館では、平成14年（2002年）から毎年、小学校の夏休み時期に合わせて、「夏休みおもちゃづくりワークショップ」を開催している。これは、成安造形大学の協力を得た連携事業で、美術領域を専門とする大学生とともに、歴史文化をテーマとした子ども向けワークショップをおこなうものである。大学生は大学のプログラム授業として参加し、ワークショップ内容の考案、準備、当日の指導などを担当する。これまでに約600人の学生が参加してきた。本事業は、市内の小学生が親子で博物館を訪れるきっかけのひとつとなっており、令和5年度までに約7,400人以上（延べ人数）の子どもたちが参加してきた。令和6年度は、4種類のおもちゃを考案・作成して、実施した。

#### 1. ワークショップ概要

開催期間 令和6年8月3日（土）～8月7日（水）[うち4日間]

開催時間 午前（10時～11時30分）／午後（13時30分～15時）

定員 各回20人

- 内容
- ①あみまり(デコってあそぼうマイけまり)
  - ②おえかき万華鏡(オリジナルプレートでキラキラ世界を作ろう!)
  - ③とばせ!こいぶみバズーカ(紙コップとふうせんでお手紙をとばそう!)
  - ④出発進行!びゅーんトレイン(マイでんしゃでかけめぐれ!)

#### 参加者数

開催日		おもちゃ名	申込数	当選数	参加者数
8月3日（土）	午前	①あみまり	37	23	14
	午後		39	22	20
	午前	②おえかき万華鏡	74	25	21
	午後		65	25	24
8月4日（日）	午前	①あみまり	48	23	22
	午後		29	23	15
	午前	②おえかき万華鏡	95	26	19
	午後		82	25	25
8月6日（火）	午前	③とばせ!こいぶみバズーカ	39	24	22
	午後		29	22	19
	午前	④出発進行!びゅーんトレイン	50	24	22
	午後		37	18	18
8月7日（水）	午前	③とばせ!こいぶみバズーカ	22	12	10
	午後		18	18	12
	午前	④出発進行!びゅーんトレイン	48	21	17
	午後		27	19	19
合計			739	350	299

(令和5年度 参加申込者のべ574人、参加222人)

### 3. 事業の概要と結果

- 毎年、常設展示や夏季企画展の内容をテーマとしたおもちゃ作りを実施している。4～5月に、担当する学生に向けて博物館事業の概要と企画展・常設展示の趣旨についてレクチャーした上で、資料提供を行い、学生たちがそれぞれの専門分野を活かしながらおもちゃを考案・制作した。今年度は、4班に分かれ、特集展示「源氏物語と大津」から3種類、夏季企画展「わたしの湖西線」から1種類のおもちゃが考案された。
- 広報については、例年どおり当館ホームページとツイッター、広報おおつへの掲載、大津市内の小学校へ全児童数分のチラシを配布することで告知した。申込数については特に「おえかき万華鏡」が多く、期待度の高さがうかがわれた。また、平日に比べて土曜・日曜の参加申込数が多かった。
- ワークショップ終了後、夏休み期間中におもちゃの作り方レシピを博物館で配布し、特に落選者の多かった「おえかき万華鏡」については、ホームページでも公開した。
- 各回で保護者の方にアンケートをおこなったところ、いずれもおもちゃの内容・制作に関しての満足度は高かった。また、大学生が指導するという点について、細かな指導ができたことや、大学生と接することができたことで新しい興味につながった点などで好評であった。

### 4. アンケート内容(自由記入欄コメント)一部抜粋]

#### [実施内容に関して]

ワークショップがあったことで、歴史博物館に行く機会が出来たので良かったです。／考えながら作る題材として良かったと思います。最後は楽しく体を動かして遊べたのでそこも良かったです。／家ではできない工作で子供たちも楽しんでくれました。／「導入」についての紙しばいがわかりやすく、口頭だけでなく、子どもにも興味をもちやすく、とても良かったと思います。

#### [大学生の指導・交流に関して]

家ではできないことを、若いやさしい学生さんがしてくれるのは子どもにとっても良い経験だと思います。／大学生の方たちがよく目配りして下さっていて、1人では作るのがむずかしいものに挑戦できてとても楽しそうな様子で大満足です。／学生さんたちは皆、肯定的に、声かけして下さい、子供たちも喜んでいる様子でした。／成安造形大学の学生の方に授業で学んでから、憧れを持っていた娘が、大喜びしたワークショップでした。専門性のある学生さんの教えてくださる貴重な機会を真剣に取りくんでいました。／芸術大学の方と関わる事ができて、絵が大好きな息子には、とてもいい経験でした。／働いている大人や先生とはちがって年がまだ近い大学生が先生になってくれる事で、「こんなふうになりたいなあ」など目標みたいに子どもが思ってくれるといいなあと思いました。

#### [意見・要望]

せっかく造形大学の生徒さんがやってくれているので、デザインや色使いなどで、アドバイスや、講習的なのがあっても良い。／今まで2回落選していてやっと当選しました。楽しいイベントなので人数か回数を増やして開催してほしいなと思います。／低学年向きや高学年向き等難易度別のワークショップがあると子供だけでも参加させやすいかなと思います



①あみまり



②おえかき万華鏡



③とばせ!こいぶみバズーカ



④出発進行!びゅーんトレイン

チラシビジュアル



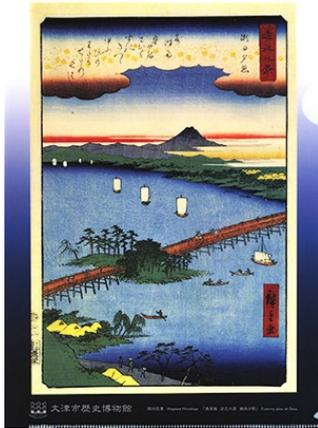
大津市歴史博物館・成安造形大学共同企画

<p>① あみまり</p>  <p>デコってあそぼう マイけまり</p>	<p>② おえかき万華鏡 <small>まんげきょう</small></p>  <p>オリジナルプレートで キラキラ世界を作ろう!</p>
<p>③ とばせ! こいぶみバズーカ</p>  <p>紙コップとふうせんで お手紙をとばそう!</p>	<p>④ 出発進行! びゅーんトレイン <small>しゅっぱつしんこう</small></p>  <p>みんなの大好きな 電車にのせてあげよう!</p> <p>マイでんしゃで かけめぐれ!</p>

### 【ミュージアムグッズ制作・販売方法】

歴史博物館では、これまで館蔵品に関する絵葉書や一筆箋、クリアファイルなどを製作しており、売り切れた場合のグッズの追加製作のほか、新たなグッズの開発・製作を行っている。

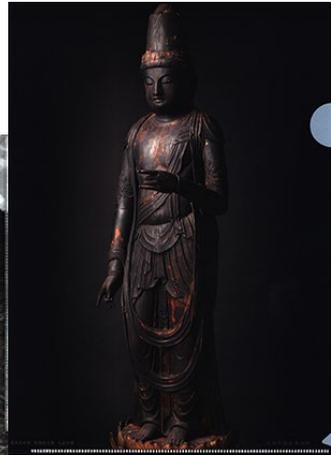
令和6年度は、クリアファイルを新たに3種、特集展示に合わせてミニクリアファイル1種を作成した。また、カプセルトイ用の缶バッジ（源氏物語と大津、大津絵 JOURNEY の2種）を作成した。



①近江八景



②江若鉄道



③聖観音立像

(いずれも1枚200円)



缶バッジ（源氏物語と大津）1点100円



缶バッジ（大津絵 JOURNEY）1点100円

## 【2-9】市内小中学校等による博物館利用状況（令和6年4月～令和7年2月）

### 【市内所在の小中学校による常設展示観覧】

来館日	学校名（学年）	児童・生徒数	引率	備考
5月21日(火)	天津市教育支援センター	3名	4名	
5月31日(金)	唐崎中学校	18名	1名	
7月4日(木)	滋賀大学教育学部附属中学校	5名	1名	
11月1日(金)	伊香立中学校	9名	5名	常設展示見学・模擬原爆模型の解説対応
11月1日(金)	日吉中学校	5名	—	班活動での見学
11月1日(金)	青山中学校	24名	1名	班活動での見学
11月1日(金)	粟津中学校	52名	4名	班活動での見学
11月7日(木)	南郷中学校	30名	2名	常設展示見学・大津絵体験学習
11月12日(火)	志賀中学校	59名	2名	班活動での見学
1月22日(水)	青山中学校	9名	2名	班活動での見学
1月24日(金)	真野中学校	11名	—	班活動での見学

合計 247 人（児童・生徒数 225 人、引率 22 人）

大津市歴史博物館条例（平成2年、条例第1号）第7条及び大津市歴史博物館の管理運営に関する規則（令和4年、規則第23号）第17条に基づき、市内所在の小中学校児童・生徒が教育課程で観覧する場合は減免対応。

### 【小中学校への出張授業対応】

市内小学校等からの依頼に応じて、随時学芸員による出張授業を実施。小学校6年生の総合学習、小学校3年生社会科「昔の暮らし」や「市のうつりかわり」に関する内容が中心。

実施日	学校名（学年）	児童・生徒数	備考
7月4日(金)	晴嵐小学校（6年生）	4クラス	晴嵐学区の歴史
9月18日(水)	青山小学校（6年生）	5クラス 165名	平和学習（太平洋戦争中の大津）
1月15日(水)	平野小学校（3年生）	5クラス	市のうつりかわり
1月16日(木)	滋賀大教育学部附属小学校（3年生）	3クラス	昔の暮らしと道具
1月23日(木)	晴嵐小学校（3年生）	4クラス	昔の暮らしと道具
1月28日(火)	長等小学校（3年生）	3クラス	市のうつりかわり、昔の道具
1月29日(水)	大石小学校（3年生）	1クラス	昔の暮らしと道具
計7回	6年生2校、3年生5校		（参考）令和5年度：6校（出張授業6校）

### 【中学生の職場体験】

大津市の「中学生チャレンジウィーク事業」として毎年実施されている職場体験について、市立中学校2年生の活動を各校からの依頼に応じて随時受け入れている。令和2年度以降は、新型コロナウイルスの影響により事業自体が中止となっていたが、今年度より再開された。体験内容は、館内案内の後、受付業務の体験や、学芸員の指導により資料整理作業の体験など。

実施期間	学校名	参加数	備考
6月27～28日、7月2～4日	粟津中学校	3名	5日間
10月23～25日、29日	皇子山中学校	3名	4日間
11月6～8日	唐崎中学校	3名	3日間
11月12～14日	打出中学校	3名	3日間
11月12～14日	志賀中学校	2名	3日間
11月27～29日、12月3日	日吉中学校	3名	4日間
11月27～29日、12月3日	北大路中学校	3名	4日間

### 【その他の学校対応（通常の展示観覧目的以外のもの）】

実施日	学校名（学年）	参加数	備考
4月16日(火)・ 4月18日(木)	滋賀県立大津商業高校 (2年生)	275名	歴史総合科目の授業協力。社会科教員と協議、授業内容への助言やデータ提供。授業後に生徒が来館し展示見学、学芸員による15分程度の講義。
5月29日(水)	大津赤十字看護専門学校 (看護学生1年生)	27名	来館による展示見学、学芸員による講義「大津市の歴史や文化、暮らし、過去の災害状況」。
7月24日(水)	滋賀県立膳所高等学校	35名	出張授業として、学芸員による講義「学校図書の資料管理を学ぶ～貴重図書を中心に～」
9月15日(日)	滋賀県立膳所高等学校学 校放送部	4名+ 教員1名	

## 【2-10】情報発信(広報・SNS)の状況

### 1. プレスリリース(広報課を通じた記者発表)

発表日	件名
令和6年 6月14日	「湖西線の思い出」を募集します(企画展「わたしの湖西線」関連事業)
7月5日	企画展「京極高次」・「わたしの湖西線」の開催
10月6日	企画展「石山寺」の開催
令和7年 2月27日	「びわ湖開き70年のあゆみ」パネル展

### 2. マスメディア等取材対応件数(令和7年3月末日現在)

取材内容	件数
展示関係	23
企画展「紫式部と祈りの世界」	6
企画展「京極高次」	3
企画展「わたしの湖西線」	7
企画展「石山寺」	7
その他(穴太衆、竜骨図、大津絵、パンプキン爆弾、東海道等)	20
計	43

※取材を受けた時点でカウントしたもの。掲載に至らなかった取材を含む。

### 3. ホームページ・SNS等の公開状況

#### ◆ホームページ更新について [アドレス：<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>]

企画展、特別展示の詳細や主な展示作品については、各トピックについてnews頁を作成して情報を公開している。また、ホームページ更新のお知らせや学芸員視点での資料紹介などについてXやInstagramを活用している。貸しギャラリーやその他の開館情報については、ホームページ・X双方で告知するようにしている。

#### ◆オリジナル壁紙の公開・配付

2021年1月から当館ホームページで公開している。年単位でテーマを変えており、2021年は大津絵、2022年は歌川広重作品、2023年は花押、2024年は源氏物語、2025年は秋の企画展に合わせてドット絵風の大津絵である。パソコンやタブレット、スマートフォン向けとして各4種を用意している。また、壁紙にはカレンダーをつけたものもある。壁紙に用いられたモチーフへの理解を深めるため、壁紙のページに簡単な説明をつけている。

#### ◆大津市歴史博物館公式Xの更新状況

[アカウント名：otsu\_rekihaku URL：[https://x.com/otsu\\_rekihaku/](https://x.com/otsu_rekihaku/)]

運用方針 URL: <https://www.city.otsu.lg.jp/shisei/koho/sns/t/1519801599531.html>  
2025年1月末日時点で総ポスト数1,758、フォロワー数3,248(2024年2月末日時点2,839)

◆大津市歴史博物館公式 Instagram の更新状況

[アカウント名: otsu\_rekihaku URL: [www.instagram.com/otsu\\_rekihaku/](http://www.instagram.com/otsu_rekihaku/)]

運用方針 URL: <https://www.city.otsu.lg.jp/shisei/koho/sns/t/46614.html>  
2025年1月末日時点で総投稿数598、フォロワー632(2023年2月末日時点448)

### 【3-1】講師・調査派遣等の状況（令和6年度）

#### I 講師派遣

4月10日	令和6年度滋賀県博物館協議会第1回研修委員会	滋賀県博物館協議会
4月16日	地理歴史科（歴史総合）研修	滋賀県立大津商業高等学校
4月18日		
4月23日	中央電気倶楽部 文化探究会	一般社団法人中央電気倶楽部
4月24日	滋賀県博物館協議会第1回広報委員会	滋賀県博物館協議会
5月19日	令和6年度大津祭曳山連盟総会基調講演	特定非営利活動法人大津祭曳山連盟
5月22日	大津市ウォーキング協会創立10周年記念講演会 「紫式部と石山寺」	大津市ウォーキング協会
5月22日	通常総会講演会「大津城」	一般社団法人 滋賀県建築士事務所協会
5月25日	大津まちなか大学大津祭学部第1回講座 「大津の町の歴史」	特定非営利活動法人大津祭曳山連盟
5月29日	第19回大津の京阪電車を愛する会総会講演 「京津電車が開通したころ」	大津の京阪電車を愛する会
5月29日	地域・在宅看護論Ⅱ施設見学	大津赤十字看護専門学校
6月26日	滋賀県博物館協議会総会	滋賀県博物館協議会
7月4日	博物館実習（文化史）見学実習	京都大学文学部
7月13日	第56回人権を考える大津市民のつどい志賀ブ ック「夏の集会」「日米親善の「青い目の人形」 ～大津市の学校資料から～」	人権を考える大津市民のつどい志賀 ブック運営委員会
7月24日	令和6年度滋賀県高等学校等教育研究会学校図書 館研究部会湖西地区研究テーマ「学校図書館の資 料管理を学ぶ～貴重図書を中心に」	滋賀県高等学校等教育研究会学校図 書館研究部会
8月21日	図書館事業おとなのための図書館講座 「京極高次と大津城」	大津市立図書館
8月21日	令和6年度日吉学区教育総合推進会議「人権・心 の教育部会」研修会	日吉学区教育総合推進会議
9月18日	大津市藤尾コミュニティセンター講座 「源氏物語と大津」	大津市藤尾コミュニティセンター
10月16日	大津まちなか大学歴まちガイド育成学部 「大津百町案内の極意」	大津まちなか大学大津百町エリア部会
10月26日	大津百町和菓子屋めぐり	大津駅観光案内所
10月27日	令和6年度「南比良地区自主防災会 研修会」	大津市南比良自治会
11月10日	古地図閲覧会	守山財産区
11月12日	滋賀県警察学校校外研修	滋賀県警察学校長
11月14日	大津市熱心まちづくり出前講座「地域の魅力再発 見」	田辺町壮寿会
11月16日	第40期「敦賀市民歴史講座」	気比史学会
11月19日	堅田歴史同好会講座「大津城主京極高次について」	堅田歴史同好会
11月25日	地域実践学入門2（大津絵実践学のススメ モノが 持つ力を知る）	学校法人京都成安学園成安造形大学
11月30日	北浜歴史今昔	北浜区財産管理委員会

11月30日	第14回景観まちづくりフォーラム～歴史文化薫る堅田の風光・水辺景観～	公益社団法人日本建築家協会
12月23日	大津のうなぎ魅力発信セミナー	公益社団法人びわ湖大津観光協会
2月14日	滋賀県不動産鑑定士協会研修会「大津市内の歴史と町並み」	公益社団法人滋賀県不動産鑑定士協会
2月11日	新しい琵琶湖文化館に関する県民フォーラムⅣ～近江の文化財でひろげる滋賀の魅力～	滋賀県立琵琶湖文化館
2月23日	「大津城とその歴史を学ぶ」講演会	ネヴァーランドマンション自治会
3月8日	2024年度美術史学会西支部大会「仏像調査最前線」	美術史学会

## 2 調査派遣

7月30日 仏像輸送 宗教法人大本山石山寺

## 3 委員等

- ・ 滋賀県博物館協議会 理事、研修委員、広報委員（滋賀県博物館協議会）
- ・ 大津市歴史的風致向上協議会 委員（大津市都市計画課）
- ・ 大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会 会員（大津市観光振興課）
- ・ 「大津百町百福物語」ブランド選考委員会 委員（大津商工会議所）
- ・ きらッと大津景観広告賞・古都大津20周年記念賞 選考委員（大津市都市計画課）
- ・ 成安造形大学附属近江学研究所 客員研究員（成安造形大学）
- ・ 豊郷町史編さん執筆委員（美術工芸）（豊郷町）
- ・ 清水寺史編纂委員会 委員（清水寺）
- ・ 総本山知恩院史料編纂所 編纂員（知恩院）
- ・ 独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館 収蔵品修復業者選定委員（絵画）
- ・ 収蔵品価格評価委員（滋賀県立陶芸の森陶芸館）

## 【3-2】収蔵資料の貸出し状況・特別利用の状況（令和6年度）

### ○MIHO MUSEUM

「奈良大和路のみほとけ - 令和古寺巡礼 -」

令和6年度特別展「旅する大津絵展 - かわいい！たのしい！江戸庶民の人気みやげ -」

会期：令和6年7月6日～9月1日

・絹本着色 観経变相図 鎌倉時代 1幅 乗念寺蔵〔本館寄託〕

### ○龍谷ミュージアム

秋季特別展「眷属」

会期：令和6年9月21日～11月24日

・絹本着色 毘沙門天曼荼羅 室町時代 1幅 太神山不動寺蔵〔本館寄託〕

### ○比叡山国宝殿

「比叡山と平安京」

会期：令和6年10月5日～12月1日

- ・大津市指定文化財 日吉山王垂迹神曼荼羅 1幅 個人蔵〔本館寄託〕
- ・滋賀県指定文化財 聖観音立像 1軀 松禅院蔵〔本館寄託〕
- ・滋賀県指定文化財 地藏菩薩立像 1軀 松禅院蔵〔本館寄託〕
- ・重要文化財 天台大師像 1幅 西教寺蔵〔本館寄託〕
- ・重要文化財 天台三祖像 1幅 金台院蔵〔本館寄託〕

○博物館資料の特別利用 74件（令和7年3月7日現在）

### 【3-3】貸しギャラリーの利用状況(令和6年4月～令和7年2月)

#### ① [企画展示室の貸出]

	展示期間	展覧会名	主催	観覧者数	展示室
1	4月2日～7日	第36回美術サークル4.0展	美術サークル4.0	529	A
2	4月4日～7日	第18回洋画作品展	仰木の里油絵同好会「遊」	319	B
3	4月10日～14日	滋賀水彩画展	滋賀水彩画会	644	B
4	4月12日～14日	第37回全国シルバー書道展滋賀展	公益社団法人日本書芸院	943	A
5	5月28日～6月2日	第12回しがの風展	しがの風	870	A・B
6	6月7日～9日	キルトフープ パッチワーク作品展	キルトフープ	428	B
7	6月21日～27日	第74回大津市美術展覧会	大津市湖都文化実行委員会	1,356	A・B
8	6月29日～7月5日	第47回大津市写真展覧会	大津市湖都文化実行委員会	1,073	A・B
9	9月3日～8日	第24回錦織美術倶楽部作品展	錦織美術倶楽部	373	B
10	9月11日～16日	2024 CAF.Nびわこ展	CAF.Nびわこ展実行委員会	415	A・B
11	9月20日～23日	第44回滋賀県書展	公益社団法人 滋賀県書道協会	593	B
12	9月25日～29日	第69回滋賀県美術協会展	滋賀県美術協会	626	A・B
13	12月3日～8日	令和6年度現代大津絵展	日本大津絵文化協会	669	B
14	12月12日～15日	花寿会水墨画合同作品展	花寿会	335	B
15	12月13日～15日	大津市立幼稚園こども展	大津市福祉部子ども未来局幼保支援課	1,921	A
16	12月18日～22日	第6回大津写真連盟合同写真展	大津写真連盟	244	B
17	12月20日～22日	大津市保育園・こども園園児作品展	大津市保育協議会	1,055	A
18	1月10日～15日	大津市小・中学校児童生徒書き初め展	大津市教育委員会事務局 学校教育課	2,407	A・B
19	1月17日～23日	大津市特別支援学級・特別支援学校作品展	大津市教育委員会事務局 学校教育課	2,796	A・B
20	1月25日～29日	大津の子ども総合美術展	大津市教育委員会事務局 学校教育課	2,353	A・B
21	2月7日～9日	第64回滋賀県書き初め展覧会	公益社団法人滋賀県書道協会	6,269	A・B
22	3月7日～9日	新田梨香と社中展	新田和子	141	B
23	3月11日～16日	スクランブルフォト写真展	田中博文	281	B
24	3月28日～30日	第22回滋賀県立膳所高等学校書道部書道展	滋賀県立膳所高等学校書道部	176	B

合計 令和6年度 24回(見込み) **総観覧者数(※2月分まで)** 26,816 人

対前年度

[参考]	令和5年度	24回	総観覧者数	28,725 人
	令和4年度	25回	総観覧者数	26,612 人
	令和3年度	27回	総観覧者数	24,112 人
	令和2年度	16回	総観覧者数	16,645 人
	令和元年(平成31年)度	29回	総観覧者数	34,824 人
	平成30年度	32回	総観覧者数	35,095 人
	平成29年度	40回	総観覧者数	43,225 人

② [その他]

	展示期間	展覧会名	主催	観覧者数	場所
1	7月18日～9月1日	塞王の楯をめぐるパネル展	びわ湖大津観光協会	8,378	2階ロビー
2	7月20日～9月1日	湖西線開通50周年記念 湖西線 次の50年に向けてパネル展	湖西線利便性向上プロジェクト推 進協議会	8,281	2階ロビー
3	10月19日～24日	「源氏物語の世界」書道コンクール作 品展	大津市観光振興課	886	2階ロビー
4	10月22日～31日	埋蔵文化財みにみに展 大津むかし・むか～し	大津市埋蔵文化財調査センター	582	講座室
5	10月27日	埋蔵文化財みにみに展連動講座 発掘調査成果報告会2024	大津市埋蔵文化財調査センター	80	講堂

総観覧者数(※10月分まで) 18,207 人

## 【3-4】施設の活用（キッチンカー・ロビー展示等）

### ◇秋季企画展でのキッチンカー販売について

当館は館内飲食禁止だが、博物館施設の利活用のために、昨年度に引き続き、秋の展覧会にあわせて正面玄関テラス前で、キッチンカー販売を実施し、テラスで飲食出来るスペースを提供した。

- 1 期間 令和6年10月25日（金）から11月15日（金）までのうち 計4日間
- 2 場所 歴史博物館正面玄関テラス前で軽自動車2台程度のスペース
- 3 事業者数 2事業者（キッチンカー2店舗）
- 4 利用人数 のべ102名（事業者報告）（1日平均25.5名）
- 5 評価と今後の展開について
  - ・ 歴史博物館周辺は飲食可能な場所が限られかつ案内できる場所が少ないため、多数の来館者が訪れる企画展期間中の事業として一定の需要に応えることができた。
  - ・ ゴミや飲食物の持ち込みなどに関しては、事業者の協力もあり、問題なく終えることができた。また、館内への飲食物持ち込みに関するトラブルもなかった。
  - ・ 昨年度と同様に、気候が良く、多数の来館者が見込まれる秋季企画展にあわせて実施した。事業者数及び利用者は前年度より減少という結果になったが、1日当たりの平均利用者数は増加した。
  - ・ 一昨年、昨年と比べると各地でのイベントが増加したため、本事業に参加する事業者が減り、また参加した事業者もイベント開催が少ない平日のみの出店となった。
  - ・ 今後は、来館者の需要やキッチンカーの出店状況等を考慮しながら開催を検討する。



玄関前のテラス（歴博 TERRACE と命名）



キッチンカー

## ◇ロビーの活用

無料エリアであるロビーは、貸しギャラリー観覧者も気軽に観覧できるため、歴史にあまり関心がない層にも歴史や博物館活動に興味を持ってもらうスペースとして格好の場所である。1階ロビーでは昨年度に引き続き、特集展示「源氏物語と大津」にあわせて、石山寺源氏の間の再現やタッチパネルでの源氏物語各帖の解説、大河ドラマ「光る君へ」関連のパネル展を行った。

2階ロビーでは、坂本城の石垣と考えられる遺構が発見されたことに合わせて、京都橘大学が制作した坂本城の発掘調査のポスターを展示した。また、企画展「京極高次」にあわせて、「塞王の楯」関連の展示と企画展「湖西線」関連の映像コーナーを設置した。秋には、大河ドラマ「光る君へ」に合わせて、源氏物語の世界を表現した書道コンクールの作品を展示した。

## パネル展「大津市坂本城跡の水中考古学的調査」

会期 令和6年3月2日(土)から3月31日(土)まで ※以降、継続して7月中旬まで掲示。

内容 琵琶湖中の坂本城跡の調査成果の紹介

主催 京都橘大学文学部歴史遺産学科

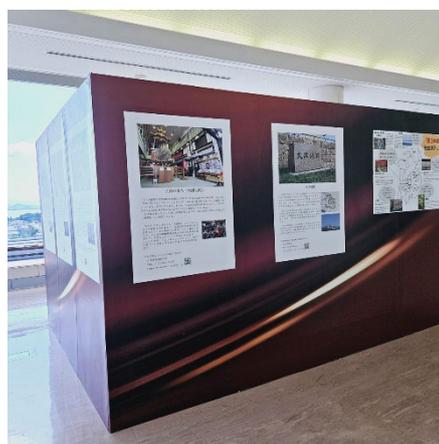


## パネル展「塞王の楯をめぐる」

会期 令和6年7月20日(土)から9月1日(日)まで

内容 今村翔吾氏の直木賞受賞作『塞王の楯』のゆかりの地の紹介と着装体験、スタンプラリー

主催 公益社団法人びわ湖大津観光協会



## 湖西線開業 50 周年記念展 映像コーナー

会期 令和6年7月20日(土)から9月1日(日)まで

内容 NHKの映像ライブラリーから、湖西線に関連する映像を選びすぐって放映

主催 NHK大阪放送局

## パネル展「源氏物語の世界書道コンクール 入賞作品展」

会期 令和6年10月19日(土)から10月24日(木)まで

内容 源氏物語の登場人物や和歌をテーマとした書道コンクールの入賞作品を紹介

主催 大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会・公益社団法人滋賀県書道協会



## 第70回開催記念「びわ湖開き70年の歩み」パネル展

会期 令和7年3月1日(土)～3月30日(日)(月曜日と3月21日は休館)

内容 70回目を迎える「びわ湖開き」を記念し、これまでのあゆみを写真パネル等で振り返る

会場 大津市歴史博物館1階ロビー

主催 大津市歴史博物館

協力 びわ湖大津観光協会、琵琶湖汽船株式会社



会場風景



黄金の鍵の展示